

高東京矢高会 ニュース

ごあいさつ

支部長 中山正雄(21期)
春の息吹があらちちらこちらで見られるほのぼのとした気候となつてきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は、調布市の深大寺の近くに住んでおりますが、すぐそばにはカニ山と言う里山があり、深大寺付近から湧き出す清水による自然公園もあります。深大寺には都立植物公園や水生植物公園もあり流れ出る小川に春の水が踊るように跳ねて見えます。

ウキウキする年度の変わり目ですが、コロナウイルスの感染問題に加えて、残念なことに世界では悲しい出来事が引き起こされました。人間はこんなにも冷酷な動物なのかと信じられない思いでいるのは皆さんと同じです。微力でも人間の尊厳を守るために動か

なければとミャンマーに続きウクライナの人々への支援の

寄付をしたところです。

定年退職をして少し時間もあると考え、母校のために動くうちにと支部長をお引き受けいたしました。思いもかけず、今は小さな子どもたちに囲まれて、モテモテの忙しい毎日を過ごしております。(支部長としての役割ができていない言い訳ですが、)

24年前に、府中市にある小さな共同保育所の話を聞いたことがきっかけでした。無認可の小さな保育園で、「生活できるの?」と驚く低賃金で長時間働いている保育士たち、それなのに生き生きと輝いている姿を見ました。応援のつもりでかかわり二〇〇〇年に社会福祉法人を設立、成り行きで理事長となり現在五つの事業所があります。そのうちの一つの保育園で園長業務をししばらく行わなければならなくなりました。

我が家から保育園へは、野川沿いを上って三鷹市に入り、

関東村の飛行場の側を通ります。

関東村は桜並木が見事になっています。日に日に色づいていく様子が解ります。もうすぐ開花が見られるなと思いを膨らませての毎日です。関東村の桜の並木道を超えると、戦中に敵から飛行機を隠した分厚いコンクリーの大きな防空壕のようなものが見られます。いつもは、特に考えずに通りますが、今は、ウクライナの国民のことがよみがえります。この壕の周りに「混乱した人の姿が見えるような」思い、今の時代に戦争を仕掛ける国への怒りと悲しみがこみ上げます。そこを過ぎると、

近藤勇のお墓や生家跡、道場などがあります。その先には野川公園があり、今はコロナで難しいですが、バーベキューなどができる場所が

あります。親子連れやグループの元気な声が聞こえてくる場所です。

先日、保育園の子どもたちは野川を下って多摩川の合流地点を目指す遠足に向かいました。5歳児の子どもたちです。春の訪れの野川では「あれは何」「見てみて」と元気な声、小さな子たちに手をつながれると、「安心を伝える側であるのに安心をも



発行日 令和4年3月25日
号数 第20号
発行 矢上高校卒業生会東京支部
発行人 中山正雄 編集人 三宅良二
事務局 千葉市緑区高津戸町 309・44

らっている老人」が自分であることに驚かされます。野川は府中から調布市、狛江市、世田谷区を流れて二子玉川あたりで多摩川に合流します。3月12日の土曜日は、単立ちの会(卒園式)でした。コロナの下で「リスクばかりに押しつぶされて諦めるのではなく、どうしたら乗り越えられるかをどれだけ考えて行うかがみんなの役割ですね」と若い職員に期待したら感染対策をいっぱい調べて、保護者に子どもたちの活動を通して育ちを見ていただく会にすることができました。多くの職員が退職の意向があると私が聞いたのは12月末でした。この2か月半のほとんどを保育園で過ごし、危機を一緒に乗り越えて行こうと職員の大人とも関係づくりを楽しんでいます。

5月22日には、3年ぶりに支部総会を行います。このようなかだからこそ、みんな力を合わせたい。きつと、私だけでなく皆さんがお互いに元気になる機会を用意したいと計画しております。ぜひ、ご参加ください。楽しみにお待ちしています。

何気ない日々こそが幸せ

島根県立矢上高等学校
校長 志波英樹

一月下旬、これまでコロナ感染が比較的少なかった島根県でも、きわめて感染力が強いとされる新たな変異株(オミクロン株)の出現により、今までと比べものにならない早さで感染が広がっています。邑南町も例外ではなく、一月中旬に町内初クラスターも確認され、学校も対応に追われる毎日です。感染者数は前年を遥かに越えて未だ終わりも見えず、日本中が混乱した昨年度よりもむしろ今年度の方が深刻だと言わざるをえない状況です。

昨年度に生徒会長だった生徒が、高校最後の一年をコロナ禍の中で過ごした思いを、生徒会誌の中で次のような思いを綴っています。

この一年間を振り返ると「様々なことが奪われた一年間」と捉えることもできますが、私は「様々なことが経験できた一年間」と捉えようと思います。進級してから休校期間。正直、最初は嬉しさがありました。自由な時間が増え、好きなようにできる!そんな風に思っていました。しかし、蓋を

開けてみれば、つまらない毎日でした。学校がなければ、部活もない日々。友達と会って話すことのできない日々。そんな日々を一ヶ月以上経験し、感じたことは、学校に行き、先生や友達と会い、勉強をし、愚痴混じりの会話をする。何気ない日々が「しあわせ」だったということでした。普段の生活は幸せに満ちていて、一日一日を大切に過ごすことを教えてくれたのだと思います。

少し長くなりましたが、矢高生がコロナ禍にどのような思いで高校生活を過ごしていたかを知っていただきたく、引用いたしました。この思いは、おそらく多くの矢高生が共有していたものであったように感じます。二度とない高校生活の中で、失われた一年という思いを抱くにいたった無念とともに、それでも得がたい経験ができた一年と捉え、前を向いて歩みを進めた矢高生を、私は誇りに思っています。

昨年度のような混乱状態は沈静化し、学校行事や部活動が実施できていることが救いではありますが、現在も制限付きの高校生活が続いており、今後の成り行きも不透明です。二〇二二年こそ、「何気ない幸せな毎日」が到来することを願ってやみません。

『コロナに負けず継続を』

矢上高校卒業生会
関西支部長

河井正之(13期)

東京支部の皆様ご無沙汰致しております。貴支部「第39回支部総会」「第10号会報誌」に出席・寄稿させて頂きました。それ以来です。

全世界で発生した「新型コロナウイルス騒動」で非日常生活を強いられ早二年…東京支部と同様、関西支部も振り回されています。

ここ二年間、支部総会が開催出来ていません。

昨年十二月デルタ株が一旦落着き、今年は開催出来るぞ…と思いきや、今度は心配していた第六波突入、「オミクロン株」の感染急拡大による「まん延防止法発令」「非常事態宣言」等です。いつまで経っても日常の生活に戻れません。(涙)

今迄、仲間と毎月の懇親会、カラオケ等の楽しみが懐かしく想われます。(笑)

東京支部には叶いませんが、関西支部は今年で創設32年目を迎えますが、今年も開催不可?と落胆致しております。これだけ間が空くと卒業生の



皆様との“絆”の気薄さが心配される所です。

関西支部は昨年十一月一日に皆様との“絆”継続・維持の為、東京支部(20号)を見習い「矢上卒業生会関西支部だより」の創刊号を発行致しました。

関西支部のモットーは「継続は力なり」です。コロナに負けず、貴支部と連携・協力して頑張りますのでよろしくご指導の程、お願い申し上げます。

昨年十二月三日私用で「母の一周忌法要(享年百五歳)」で帰省の折り、学校へ久しぶり(創立70周年記念行事以

降)に立寄りました。

野球部安食部長・山本監督に挨拶し、選手の冬期練習を見学させて頂きました。我々の時代(うさぎ跳び)と違い、ダンベル、チューブ等で筋トレ・体幹強化を図っていました。

練習途中、安食部長の気遣いで選手全員集合して頂き、挨拶をさせて頂きました。

来年夏の「甲子園出場・校歌斉唱」を期待して、大阪でお待ちしています。…と伝えました。(笑)

校歌の話はもう一つ。

卒業生会本部から各支部へ連絡頂いた、一月二日矢上高校特集テレビ放映「嗚呼懐かしき我が校歌」残念ながらBSの山陰放送のみのローカル放送で東京・関西は視聴出来ませんでした。但し、本部神田会長に電話して、各支部へDVD録画にて配布をお願い致しました。いつの日か届くと思いますのでお待ちください。

小生は田舎から送付して貰った録画で視聴しました。やはり校歌は「甲子園」で皆さんと一緒に歌い、歓喜を共に味わいたいと思います。皆様も今後の野球部の活躍を期待しましょう!(笑)

東京支部の皆様もコロナ禍に負けず、ご健勝にてお過ごしください。

「お元氣ですか」

三宅美明(24期)

コロナ禍のなか、不安な毎日をお過ごしのことと思います。島根県でも「まん延防止等重点措置」が適応され医療体制が十分でない石見地方では、とても心配しております。さて、私は平成26年3月で矢上高校を最後に定年退職しましたが、矢上

高校在職時には東京支部総会に何度か参加させて頂いていただきました。母校に対して様々な応援や支援をいただきとても感謝しております。ふるさとを離れ様々なところで活躍をされた卒業生の方のお声を聞かせていただきました。励ましの言葉や応援をいただくことでどれだけ心強く思ったかわかりませんが、本当にありがとうございます。私が在職中には、



たくさん卒業生の方が来校されいろいろな話を聞かせていただきました。第3期卒業生の方が「最後の同窓会」といつて十数名の方が来校され高校時代の話を懐かしそうに話されておられた姿が今でも忘れられません。また、カナダに移住された卒業生の方が帰省されたときに、矢上高校の生徒に話をしてくださいました。「海外に行くことが大変な時代、なぜ移住されたの

ですか？」の質問に、「矢上高校時代には、この山の先には何かあるのかと興味があわき就職して大阪に出て一生懸命に働いた。そして大阪の時はこの目の前の海の先には何かあるのかと新たな興味がわき、アメリカより移住しやすかったカナダに移住した。」と答えられ、その前向きで逞しい生き方に感動しました。カナダでは言葉が不自由のなか様々な資格を取得して自立して家庭を持ち、今でもお孫さんに囲まれて仕事もされておられるとのこと。また世界の山に登ることに挑戦されているとも語っておられました。矢上高校校訓「腕に覚えのある人間・筋金の通った人間・思いやりのある人間」を感じ、自分がとても小さな人間に思え刺激を受けました。

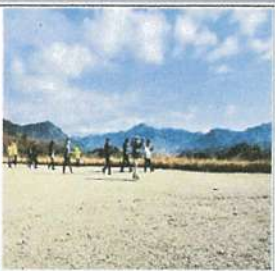
待ちたいと思います。写真は五十年前の矢上高校校舎です。懐かしく、つい先日のように思い出されます。「ふるさととは遠きにありて思ふもの」なのかなと思います。「持続可能な東京矢高会 誰一人取り残さない 卒業生会」 矢上高校卒業生会 会長 神田恵介(13期) この度は「東京矢高会ニュース」第二十号おめでとうございます。最近田舎に居てもコロナで外出も制限され必要な情報も入ってこないようになりました。欲しい情報などはどこに聞いていいかわからないという状態です。このような中で東京矢高会が二十回となる矢高会ニュースで情報を毎年会員に発信されているということは大きな意義があると思います。会員からいろいろな情報を発信してもらいたいと思います。 邑南町でも今オミクロン株が猛威を振るっています。原稿を書いている2月中旬で町

内感染者が160人を超えました。濃厚接触者が多く出て町(役場)が食事を自宅前まで配達するという状況でした。3回目のワクチン接種が始まり何とか外出ができるようになるかなと思っています。矢高会ニュースなどの情報のありがたさを痛感しています。 矢上高校も一時コロナ休校となりました。今年の卒業式、4月の入学式も生徒と父兄だけの式となっています。昨年「矢上高校と地域の未来を創る会」というのが立ち上がりました。創立から七十余年が経ち時代に添った魅力ある高校とするために地域と連携、協議して進めていこうという企画です。会長は町長がされていますが卒業生会会長も校長とともに副会長として役員に名を連ねています。もちろん皆さん方もその一員です。 私は田舎に帰って十年近くになりましたが、今、地元のそば粉でそば打ち体験教室を行っています。4月からは都会で居ながらにして邑南町のもので手が入るといって買い物代行オンラインショップ「邑南リクエスト市場」を立ち上げることをしています。邑南町観光

情報も無料で提供します。 邑南リクエスト市場で検索してみてください。 井原(私の出身地)の地区別戦略として今年SDGsを採用し「持続可能な井原づくり 誰一人取り残さない井原」と言っています。矢上高校は「持続可能な矢上高校 誰

開店祝いはこちら

オンライン
邑南町名物なんでもリクエスト
市場



邑南町のあれが欲しい時に！ お買物代行 今
の邑南町あそび情報入手

SDGs ー持続可能な地域づくり 誰一人取り残さないリクエスト市場ー

一人おちこぼさない矢上高校」とし魅力ある学校にするとともに、卒業生会も「持続可能な卒業生会 誰一人取り残さない卒業生会」にしたいと思っています。

東京矢高会も矢高会二二一ス第二十回発行を機に「持続可能な東京矢高会 誰一人取り残さない卒業生会」を指標に頑張ってください。
東京矢高会のますますの発展を期待しています。

明溪寮の思い出

花本保博(10期)

応援歌、熱射骨焼くの中で、克気を己の心とし、の歌詞がある。この己に克つ精神力を養ってくれたのは、明溪寮の三年間の生活であったと思う。のんびり家庭で過ごしていたが市木から矢上高校までの交通の便が悪いために入学と同時に入寮した。生活は一変した。各部屋五〜六人で、各学年が数人ずつの同部屋で男子寮は六室あった。朝六時に当番の笛と「起床」の号令で掃除、ラジオ体操、神社近くまでの駆け足、食後登校までの小勉強と、忙しく規律正しい一日が始まる。私は柔道部の部活

から下校するとすでに夕方、室毎の入浴、食事、数時間の勉強(時間中に舎監の先生の静かな見廻りがある)最後は全員各室前に整列して、各室長が舎監の先生に室員の状況を報告して、話しを聞いて一日が終わる。上級生への挨拶、口付きの悪いときは注意されるが、少し程度が悪いと、就寝していると起こされ、数人の上級生に注意される(これを締めるという)恐怖の時でもあった。

特に舎監の種佐(たねさ)

先生は生活面・勉強面共に厳しく、勉強も通学生に負けるなども言われていた。しかし、入寮当時は毎週帰りがたかった我家も、だんだん食料の米を取りに帰るくらいとなり、団体生活も寮の催しもあり、それなりに楽しくなっていた。

現在、矢上高校も他県からの入学生も多いと聞き、寮も寄宿舎として新しくなったようだが、生徒達の規律や運営がどうなっているか気になる。下手をすると共同生活は悪の温床にもなる年頃なのである。

私は進路でも、獣医師でも萩原教頭先生の勧めで、麻布獣医科大学に行くことができ

た。大学生の時は教職課程の教育実習でも矢上高校にお世話になった。

卒業後六十年以上経った今でも、メロディーも歌詞も好きな寮歌、「柏にむすぶ朝の梅雨」と歌えば当時の寮生活鮮やかに思い出す。今も矢上高校は身近な存在である。少額ではあるが、野球部の応援も毎年している。

「島根の生活を経て」

若林絹香(70期)

島根県での高校生活三年間の思い出と、今住んでいる横浜の生活について話そうと思います。

矢上高校生活はとても充実した三年間でした。何より人の温かさに沢山助けられたと思います。振り返ると私は、お利口な生徒では無く、担任の先生によく迷惑をかけていたと思います。見放さず卒業までサポートしてください。今では感謝しかありません。この場をお借りして、見放す事なく三年間育ててください。たこと、心よりお礼申し上げます。

部活動では、部員と汗を流しながら目標に向かって、共

に切磋琢磨した日々が昨日のように想い出されます。ランニングしながら見る、矢上の夕陽はとても綺麗で、今でも忘れられません!部活後に食べる寮のご飯は、とても美味しく今でも忘れられません。顧問の先生は一生懸命私と向き合ってください、いい部活動が行えました。

文化祭や体育祭で盛り上がったクラスメイト、毎年誰かの誕生日には、アベルでケーキを買い、一室を借り誕生日パーティーをした寮の友達。今でも可愛がってくれるバスケット部の先輩方。仕事の悩みを聞いてくださる先生方。いつも優しく挨拶をしてくださり、気さくに話しかけて下さった地域の方々。そして三年間遠く離れた場所で支えてくれた家族。感謝しかない素敵な三年間でした。ありがとうございます。

高校時代は、スイーツ甲子園を目指し、大好きなスイーツを作っていました。でも口腔内が健康でないと食事は楽しくないと気づきました。食べる事の楽しさ、大切さを支えていきたいと思いい調べているうちに歯科衛生士という職業を

知りました。卒業後、地元に戻り歯科衛生士の短期大学へ進学しました。思えば大学生活の三年間は勉強の日々でした。でも実習やテストなど、色々な壁を、共に励まし合い頑張った、素敵な仲間と過ごせた大学生活でもありました。コロナ渦で迎えた初めての国家試験、不安も沢山ありましたが、なんとか合格し、歯科衛生士として今は働いています。まだまだ未熟ものですが、健康をサポートできるよう日々頑張っています。高校の校訓である、「腕に覚えのある人間、筋金の通った人間、思いやりのある人間」を忘れずこれからも何事にも邁進していきたいと思っています。

クソ思考

大羽 登(5期)

私事ですが老生5月で87歳、目下足腰の衰えを感じつつ過ぎしております。6年前から透析患者となり週に三回通院しています。誤って誌上で森喜朗元総理が、この時間がフリータイムで最も安堵できると言われていましたが、老生も思考の時として活用しています。一週間のあとの三日

間は現役復帰、ビジネスに精進しています。六十年の証券マン人生を投資ファンド(組合)の理事長として内外の投資家に対応しています。月に一回の経済セミナーを限定会員にて主催しており、そのスピリットは、デジタルアーツ(教養)で現実を透視しつつ、未来の有り様を検証しお方の予測は当を得て喜んでいる。

さて本論に入ろう、老生の透析人生は色々な事を学ばせてくれています。人間の生命の原典は何か。健常者であった頃には気づかなかつた諸々を、この会報にて甚だ相応しくありませんが、「クソ小便」のいかに大切かを「よくよく案ずるに無辺の宇宙・悠久の時の流れから人間は余りにも小さいと気が付く」中国の荘子(大思想家)は「道はクソ小便にある」と言っています。人間は所詮「ウンチ袋に過ぎないとも言えよう。日本人は一日一億二千万トンの量のクソを生み出し、それが汚物として廃棄処分されています。この汚物に目をつけた男がいます。マイクロソフト社の創業者であるビルゲイツ。自己資本二百億円を投じク

ソを浄化するシステムを開発し出てきた水をゴクゴクと飲んで(サブライズ)「正に陰転じて陽」

今日世界の数億人が水不足で非衛生的な生活をし、その為数千万人が命を落としています。有力識者に21世紀はオイル戦争ならぬ水戦争が始まる」と警笛をならしています。今日の為政者で水対策を云う者は余りいません。若しビルゲイツの開発したシステムを活用しクソを浄化し真水に転換できれば、こんな喜ばしいことはありません。

「クソの歴史」

江戸時代の糞尿は貴重な収入源でした(学校では教えません)長屋の大家は店子の家賃よりも彼等の落とす糞尿の売値の方が多かった。これにも値段の格差がありました。大名・旗本・町民・共同住宅・牢屋の順で上下で数倍の差がありました。江戸時代にはこれらによつて作物が生産されていましたが、大正時代に水洗トイレが出来、逆転してしまいました。

老生は人間の道のクソ小便がいかに生命にとつてイロハのイとの教育を義務化すべき

と考えますが、東欧の国々から教育の糧にするでしょう。エネルギー再生・リサイクルは地球を救う。

「母の教え」

三宅雅寛(23期)

平成28年2月14日、母(みやけすみよ)九十歳の誕生日に(卒寿)のお祝いとして、私たち兄妹六人から、こんな詩をおくりました。

みらいを照らすは母の笑顔
ようこそようこそ福の神
風雪に耐えて栄える
梅野屋を見守り支える

やさしさは、勤労・分度・推譲
を自ら行う強さを持つて
けじめ正しくあれと言う
朝の挨拶

返事はハイ
脱いだ履物必ず揃え
席を立つたらイスを戻す
すべての基本は親への孝養・先祖供養

そこから花咲き実を結ぶ
忘れるなかれ
みな様のおかげと常に心得て
お世話のできる人間に
育つてくれよと愛情を
たつぷり与えてくださった
よろこび溢れる嬉しい卒寿

素敵な家族の真ん中で
長生きしてねいつまでも

詩の中の「勤労」とはよく働くこと。「分度」とは身分相応に暮らすこと。「推譲」とは世の中のために尽くすことです。

これは梅野屋の家訓になっていきます。梅野屋は実家の屋号です。私は矢上日南原で農業を営む両親の元、六人兄妹の四男として育ちました。高校卒業と同時に警視庁警察官を志し、上京、四十一年余りに渡り首都東京の治安維持に邁進し、使命を全うすることができました。

この間、何度か仕事に行き詰まり大きな壁にぶつかる時もありました。その苦しい胸の内を打ち明けることができず、母でした。今でも忘れられない言葉があります。「人生に無駄はないよ。苦しいときは進歩しているときなんだよ。死ぬまで修行なんだから。雅(まさ) 私の名前です)は大丈夫。全とうまくいくようになる。ご先祖様が守ってくれているから」と、論じてくれ、どんなに私の心の支えになったかしれません。後に兄妹から聞いたのですが、母

は矢上駅に到着する最終バスの時間まで落ち着かない思いを抱えながら過ごしていたそうです。いつ私がケツを割って戻って来るかと気が気ではなかったんですね。改めて母の心の中を察するに、この上なく母の存在がありがたく頭下がります。

平成31年3月17日、母は父の元に旅立ちました。父と一緒に今でも私のことを、ひ



やひやしながら見守ってくれているのではないかと思えます。折しも母の詳月命日が近いこの三月、母から教わった多くの教えを今一度胸に刻み、感謝いたしたいと思えます。

令和3年度役員ご紹介：

従来は総会出席者によって予算等が承認されてますが、令和3年度総会は中止となり、年会費をお納めいただいた方に、郵送で総会資料を送りし、新役員等が承認されました。

かつては各期毎に理事を選出して運営していたようです。

今回初めての試みで、当番輪番制で各期毎に理事を選出しました。「何で私が」と思われている方もいらつしやると思いますが、理事の任期は一期、総会に同期の方をお誘い頂き出席頂くだけです。ご協力ください。私事ですが、今のマンションに引越して来て4年目、令和3年、丁度当番の年順番が回って来ました。一年だけならと自治会長を務めました。自治会長というと定年された、余裕のある長老のイメージがありますが、ここでは入居者が当番で平等に順

番にやっています。他の方も当番で自治会長をやられた方も多く、内容を理解され協力的です。高齢の独り住まいの方には負担をかけていませんが、各期理事は当番輪番制ですが、自薦他薦大歓迎です。ご理解の上どうぞご協力下さいますようお願い致します。

令和三年度のお礼と

今年度年会費のお願い

本支部の経費は、皆様方からの会費・寄付金で運営されておりま

す。 令和三年度の会費をお納め頂きました皆様、ありがとうございます。大勢の方に協力頂きました。心より御礼申し上げます。

東京支部では、周年行事や母校の周年行事やイベント、野球部が甲子園出場等の時のために、積み立てをしております。ご協力くださいますようお願い致します。

一口千円として何口でもお納め頂くことができるようになっております。同封の払込用紙にて、お納め頂ければ幸いです。本年度の会費をお納め下さいますようお願い致します。

口座番号

〇〇一四〇〇一七二二七七

役職名	お名前	卒業期	役職名	お名前	卒業期
相談役	中村 輝夫	4期	相談役	大羽 登	6期
相談役	山本 立身	15期	相談役	太田 耕造	18期
支部長	中山 正雄	21期	副支部長	日野原 信雄	17期
副支部長	榎 昇	30期	副支部長	山田 裕三	39期
監事	一谷 邦男	9期	監事	植田 豊	13期
事務局長	三宅 良二	35期	理事	井上 邦子	27期
理事	石川 義之	5期	理事	岡部 健	28期
理事	岡本 文雄	7期	理事	松村 恵美	29期
理事	柳瀬 百合子	8期	理事	森脇 誠	31期
理事	花本 保博	10期	理事	月森 敏雄	32期
理事	三浦 弘美	11期	理事	林 純子	33期
理事	三宅 弘文	12期	理事	蛭田 恵	34期
理事	椿 美津枝	13期	理事	日高 秀行	37期
理事	穂積 昭光	瑞穂10期	理事	望月 裕子	39期
理事	森岡 武	14期	理事	古谷 祐子	40期
理事	服部 豊	15期	理事	山下 真二	41期
理事	藤田 征明	16期	理事	脇坂 真弓子	42期
理事	鷺北 恵	18期	理事	渡辺 一弘	44期
理事	宮田 勉	19期	理事	宮田 和明	45期
理事	友沢 覚	20期	理事	岡田 竜士	46期
理事	岡部 輝生	21期	理事	佐藤 真子	47期
理事	三宅 光寛	21期	理事	野堀 愛	49期
理事	竹内 常年	瑞穂18期	理事	高橋 舞香	50期
理事	酒井 富雄	22期	理事	竹内 準	51期
理事	三宅 雅寛	23期	理事	入口 茜	57期
理事	織田 美枝子	24期	理事	乙原 浩美	64期
理事	児玉 和彦	25期	理事	竹内 一等	69期
理事	石橋 権憲	26期	理事	若林 絹香	70期



金融機関からの振込用
口座番号
ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキ
コウ)店 当座 〇〇七二二七七
口座名 矢上高校卒業生会東京
支部
令和三年度年会費納入ご芳名
令和3年10月6日から3月末
にお納め頂きました皆様です。
十口一万円 中村輝夫(4期)荒
瀬恵子(35期)荒瀬恵子(35期)
三宅弘文(12期)

五口五千円 神田恵介(13期)藤
橋百合恵(21期)太田周枝(5期)
中野恭子(28期)
三口三千円 三宅雅寛(23期)
日野山勉(10期)三宅光寛(21
期)石川義之(5期)服部豊(15
期)酒井富雄(22期)三浦政喜(6
期)宮田勉(19期)山田勅(18
期)
二口二千円 本田博(10期)後藤
勝子(6期)中岡庸修(15期)齊藤
均(19期)熱田和人(6期)日野菜

津江(瑞穂3期)上田敏道(19期)
平井美千枝(17期)木村信恵(18
期)
一口千円 日野勇夫(瑞穂7期)
一谷邦男(9期)宮田勝(14期)植
田豊(13期)岡部輝生(21期)森岡
武(14期)日高文三(瑞穂1期)野
坂正(5期)小林千賀(13期)高橋
廣(13期)山崎一誠(31期)佐々
木チズ子(6期)松村恵美(29期)
辻井道子(11期)江藤洋子(13
期)伊東順子(23期)吉里輝子

(13期) 坂根由里子(15期)
濱田逸子(14期)森脇好江(16
期)坂根節男(13期)日高正行
(10期)森脇俊則(18期)日高早
苗(12期)上田明臣(17期)島村
不二子(19期)倉持桂子(14期)
三宅綾子(18期)岡部健(28期)
月森敏雄(32期)若林絹香(70
期)
敬称略順不同。



第47回総会

開催のご案内

令和二年(第45回)、令和三年(第46回)と二年開催でできませんでしたが、コロナ感染拡大防止対策を万全にして開催に向け準備をすすめています。

会場は、今までお世話になっていました、御茶ノ水ホテルジュニタクが、昨年からの宴会業務を辞められた関係で、本年度、「アルカディア市ケ谷 私学会館」に変更になりました。お間違えのないようお願いします。

尚、今回の総会は、総会としては45回目の開催ですが、都合上、決算期に合わせて47回としております。第45回、第46回は中止ご了承ください。

また今年、還暦、古稀、喜寿、傘寿、卒寿をお迎えの方は、この年だけの出席も大歓迎ですので、同期の方とお誘い合わせの上、ぜひ出席ください。「元気な顔を見せちゃんさい」。ささやかですが記念品をご用意致します。

コロナ禍の中の開催ですが、これからは「ウイズコロナ」。会場ス

タッフと協力して万全の対策をし、準備をすすめております。万障お繰り合わせの上お出かけ下さいますようお願い申し上げます。

日時 5月22日

日曜日 正午

会場 市ケ谷

「アルカディア

市ケ谷私学会館」

千代田区九段北4-2-25
電話〇三三二六六一九九二二

会費男性八、〇〇〇円

女性六、〇〇〇円

*50期以降の卒業生は

会費男性三、〇〇〇円

女性二、〇〇〇円

(当日会場にて申し受けます)

(準備の都合上、五月五日まで

に同封の返信用はがきにて、出欠

をご連絡下さいますよう宜しくお願い

致します。

尚、今後の状況により開催でき

ない場合は出席をご返事頂いた方

にはその旨ご案内します。ご了承

下さい。

矢上の方言

はあ 忘れんさつたろう。高校時代に使うとんさつた矢上弁。たまにやあ思い出しちゃんさいよ。なかなか治まりそうにないのお、この新型コロナ。まあコロナにかかっちゃあいえんけえ、用事がなければあ、外に出んほうがあええが、こがあに長こおなりや、出にやいけんこともあろうで。出掛ける時にやマスクしんさいよ。

今回の総会は、新型コロナで二年やられんかつたけえ、三年ぶりだえ。支部長を中山正雄先輩が、「誰かがせにやいけまあ、誰もやる人がおらにや、そんならわしがやつちやろうか」と、男気ゆ出してもろおて、引き受けちゃんさつて初めての総会だけえ、同期の先輩は必ず来ちゃんさいよ。中山新支部長は高校三年生の時にや生徒会長をやりんさつたげな。その時の一年生や二年生も来ちゃんさいよ。

はあ三回目のワクチン打つてもろうた先輩もおりんさつたろうが、邑南町でも百人以上の感染者が出たげなで。今回のオミクロン株は感染力が強いけえやれんのお。

さあ、前号の矢上弁の問題「ほんそ」。思い出しんさつたかいなあ。かわいい。特に親が子や孫に、大

人が子供に言う言葉。子供のために親が奔走することからか。「ほんそ ほんそ」

今回の矢上弁の問題はズバリ「あずる」。思い出しんさつたかいなあ。よお思い出しんさつたから、矢上の実家や親戚やら同期生に電話して聞きんさつたもええで。答は次回の総会で。いよいよ私も矢上を離れて40年。忘れてしもおて、次の矢上弁はどがあしようにや。教えちゃんさい。

* * 編集後記 * *

コロナ禍の生活も三年。出口の見えない生活が続いています。お変わりありませんか。終息したらと考えておりましたが、終息するのはいつに頃か。これからは用心して「ウイズコロナ」で。今号にも原稿をお寄せ頂き有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。次回発行は今秋の予定です。皆様からの原稿をお待ちしております。テーマは自由です。ご協力の程、どうぞ宜しくお願致します。十分注意しておりますが誤字脱字等どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。コロナ禍での生活は何かと不自由ではありますがどうぞご自愛愛下さい。

三宅 良二(35期)